

技の肖像



櫻本真一さん。オフィスの壁面に、石とレンガ積みの壁を再現している

ペイントデザイナー

大理石の壁、アンティークなレンガ積み、技術を学んだ櫻本さんは、20代の頃、旅先石畳に古木の柱——セメントに砂と水を混ぜたモルタルを使って、さまざまな素材の質感を再現する「モルタル造形」は、アメリカ発祥の技法で、近年では日本でも住宅や店舗に取り入れられるようになった。壁や床などの表面にモルタルを塗り、固まる前にナイフで削ったりブラシでたたいたりして形を整える。これに塗装を施せば、圧倒的な存在感を放つ造形が完成する。「モルタル造形は、どんな建物や場所でも、思い描いたスタイルに変えることができます。左官や塗装といった「塗り」の技術がそれを可能にしているんです」そう語るのは櫻本真一さん。12年ほど前に、当時の日本ではあまり知られていなかったモルタル造形を、内外装に取り入れた。高校卒業後、父が経営する塗装店に入り、

技術を学んだ櫻本さんは、20代の頃、旅先のアメリカで見たモルタル造形に心を揺さぶられた。帰国してすぐに独学で技術を身に付けながら、設計事務所や工務店に飛び込みで売り込んだという。何もかも手探りでスタートだったが、今では全国から依頼が来るほどまでに事業を成長させた。櫻本さんは、造形にあえて汚れや壊れた部分を加え、経年変化によって生まれる独特な味わいを再現する「エイジングペイント」を得意としている。「エイジングは想像力が大切です。崩れたレンガの壁も、最初は職人が丁寧に仕上げたもの。それを忠実に再現した後にイメージを膨らませながら崩していきます」と話す櫻本さん。独自在磨いた技術とセンスを武器に、「壁」というキャンバスへ、新たなストーリーを重ねていく。



1.レンガ積みの造形の上にさらにモルタルを重ね、修復の痕跡を表現する 2.レンガ風に仕上げるため、ブラシを使って丁寧に彩色する。古いレンガ積みによく見られるエフロレッセンス（白華現象）も描き足すことで、リアル感がさらに増す 3.モルタル造形を駆使して、イギリスの田舎にあるようなレトロな雰囲気演出する 4.「塗りの命は均一さです」と語る櫻本さん。エイジングペイントにおいても、自然な経年変化を表現するために、バランス感覚が重要だと話す

問い合わせ
櫻一 style 有限会社櫻本塗装店

仙台市若林区霞目 2-18-5
TEL 022-352-0990
<http://www.sakura-1-style.com/>



Report 技能士を育てる。

宮城県内の企業には、優れた技術を持つ多様な技能士が活躍する。宮城のものづくりを支える匠たちを、企業がどのように育て、技を伝えているのかを紹介する。

株式会社本山製作所 (大衡村)

1924年創業の調節弁、安全弁の専門メーカー。流体制御一筋で培ったノウハウと最先端の設備をもって、石油化学・石油精製分野をはじめとした多くの産業分野に高品質の製品を提供する。現在、世界90カ国以上の国々へ輸出され、高いシェアを獲得している

国が表彰する「現代の名工」をこれまで2人輩出していることから、優れた技術力を知ることができるだろう。株式会社本山製作所では、長年培ってきた技能を受け継ぎ、機械加工やガス溶接などに関する技能資格を持つ社員たちが、安全性と信頼性が要求されるバルブ製造を支えている。

「ガス溶接は、高圧ガスや高温の炎を扱う危険度の高い作業です。そのため、入社3年間は補助員として経験を積み、国家資格のガス溶接作業主任者免許を取得してから独り立ちさせています」と説明するのは、現代の名工の早坂治さん。手作業による超高精度な金属溶着技術を持ち、これまでの経験と知識を活かし、マンツーマンで技能伝承に汗を流す。

機械加工分野では、普通旋盤作業や数値制御旋盤作業の技能士資格取得を目指す社員に対し、受検料の全額補助や有資格者への褒賞金の支給など手厚いサポートで支援する。さらに、実技試験の練習では、職業訓練指導員の資格を持つ1級技能士が指導を担当しているという。

製造部長の庄子祐二さんは、「確かな技術の証である技能資格は、企業にとって重要なアピールポイント。現代の名工の卓越した技能を次の世代に伝えるべく体制を整えています」と話す。

匠の技を次の世代へ。技能伝承の取組

技能士 MEMO

現代の名工

卓越した技能を持ち、その道で第一人者と目されている高度熟練技能者を、国(厚生労働省)が表彰するもの。宮城県では、これまで110人が選ばれている

溶接技能者の資格制度

溶接作業では、技能者の技量を一定基準(日本工業規格: JIS、日本溶接協会規格: WESなど)に基づいて評価試験を行い、さまざまな資格の格付けと認証を行っている

企業情報

所在地: 黒川郡大衡村大衡字亀岡 5-2
TEL: 022-344-4512
FAX: 022-344-4522
<http://www.motoyama-cp.co.jp/>



事業内容: 各種バルブ、同付属品の製造、販売及びメンテナンス

技能士数: のべ30人(2018年5月現在)
技能職種: 機械加工、放電加工、仕上げ、知的財産管理



1.ガス溶接(溶着)の実技指導を行う「現代の名工」早坂さん(左)。熟練技を千葉将洋さん(右)が真剣に見守る 2.伊藤佳子さん(右)に数値制御旋盤の技術指導をする1級機械加工技能士の相澤隆介さん(左)。もう一人の名工(庄子恒夫さん、2017年退職)から継承した技術を後進に伝える 3.同社が製造する調節弁。大部分がオーダーメイドで対応するため、高い研究開発技術と製造技術が求められる